

農林漁業現地事例情報「農林水産分野におけるIT活用取組事例」

1. 基本項目

| | | | |
|------|----------------------------------|------|--------|
| 分類 | 省力・便利・ 売上 ・ 元気 ・安心 | | |
| 取組名 | 二次元コードを活用し農産物の在庫管理（在庫管理システム） | | |
| 取組主体 | 農産物直売所「びばま〜と」（北海道・美唄市） | | |
| 取組地域 | 北海道美唄市 | | |
| 補助事業 | 地域ICT利活用モデル構築事業 | 年度 | 平成20年度 |
| | | 交付主体 | 国（総務省） |

2. 取組の概要

| | |
|------------------------------|---|
| (1) IT導入の必要性、 導入に至った経緯 | <p>農産物直売所「びばま〜と」は美唄市の農家16戸が運営し、自家で生産した新鮮な野菜や米を販売しているが、商品の品切れがおこっても、迅速な対応が難しかった。</p> <p>そこで、IT利用を促進していた美唄市からの紹介により在庫管理システムの存在を知り、平成20年5月から同システムを導入し、適切な在庫管理・商品補充を図ることとした。</p> |
| (2) IT利用により期待 される効果・目標 | <p>在庫管理システムを使用することで、適切な在庫管理、迅速な商品補充を行い農産物の売上げ増加を目指す。</p> <p>また、商品別の売上数量・売上金額など正確な情報を把握する。</p> |
| (3) IT活用の概要 | <p>商品に添付されている二次元コードをレジで読み込むことで農家個々の売上数量・売上金額のデータが蓄積・集計され、1日3回農家の携帯電話にメールで通知される。</p> <p>集計されたデータは次年度に向けて、営農計画の参考となっている。</p> <p>消費者は二次元コードを携帯電話のカメラで読み込めば、生産者の写真や、栽培履歴等、農作物に込めた思いを画面で見ることができる。</p> <p>食の安全・消費者の信頼確保や、農家のPRにつながっている。</p> <p>【ITの導入初期経費】【ITの年間運営経費】共に無償である。</p> |
| (4) IT利用者の範囲 | 生産者（ 団体 ） ・ 流通加工販売業者 ・ 消費者 ・ その他 （販売員） |

3. 取組の効果

(1) 定量的効果

| | |
|---------|--------------------------------|
| 効果のあった点 | 販売金額の増加 |
| 効果の割合 | 導入直前との比較： %（ ） 対前年との比較： 20%（増） |

(2) 定性的効果

| | |
|-------|---|
| 分類：元気 | 販売情報が1日3回配信されることにより、生産者の販売意欲、作付意欲の向上につながっている。 |
|-------|---|

4. ITに関する課題と今後の展開

| | |
|--------------------|---|
| 導入したシステムに関する課題・問題点 | 二次元コードのシール発行の際、商品の種類が多く、パソコン操作に慣れるまで時間を要する。 |
| ITに関する今後の取組・展開方向 | システムを迅速に活用するために、操作方法等の周知を図り、作業効率の向上を目指す。 |

5. 利用者、IT（システム）構築業者の感想（声）

利用者に高齢者が多いことから、システム作業の簡易化など、更なる改善が必要。

6. 石破プランへの展開

| | |
|--------------------|--|
| 石破プラン推進 に向けての所見 | 現在、各地で直売所形態の農産物販売が増加しているが、同システムを導入することで、生産者の販売金額の向上や作業の効率化、また、消費者への信頼確保などが期待される。 |
|--------------------|--|

7. 取組主体の概要

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 設立年次 | 平成16年 |
| 構成員 | 16戸 |
| 経営規模 | 経営耕地面積：－ 所有施設：直売所施設は市所有のものを利用。 |
| 主な活動 内容 | 農産物の直売 |

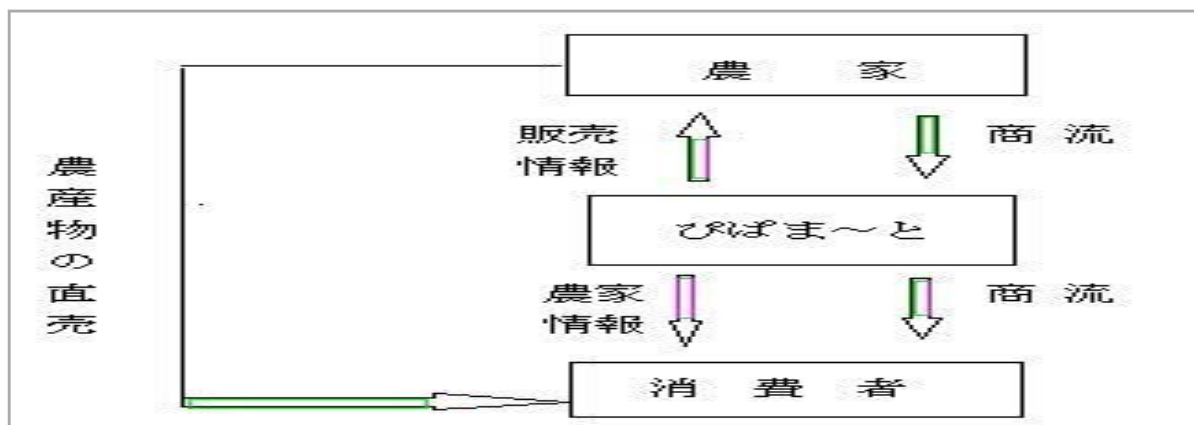


QRコード付きシールを発行する様子
生産者自らがパソコンを使用し商品に添付するQRコードのついたシールを発行している様子



QRコードを使用した在庫管理システム
QRコードを読み込み商品の売り上げが容易に検索できる様子。

イメージ図



【情報収集官署】北海道農政事務所 岩見沢統計情報センター

連絡先：0126-23-4466

<本事例の収集時期：平成21年7月>